

平成27年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(平成27年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	盛岡中央市場冷蔵株式会社	所管課	中央卸売市場業務課
所在地	〒 020 - 8567 盛岡市羽場10地割100番地		
電話番号	(019) 638 - 7605	設立年月日	昭和43年7月13日
代表者	代表取締役社長 菊池一裕 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB	<input type="checkbox"/> 市現職 <input checked="" type="checkbox"/> その他
設立目的	盛岡市中央卸売市場水産物部における卸売業者、仲卸業者及び売買参加者の出資により、開設区域内での水産物の安定供給を図るため、冷凍・塩蔵魚介類等の冷蔵保管及び製氷販売を目的として設立された。		
主要事業	① 冷凍及び冷蔵保管事業 ② 製氷及びその販売事業 ③ 前各号に附帯する一切の事業 ④		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
<input type="checkbox"/> ある (アドレス http://)
<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input type="checkbox"/> その他()
ホームページ以外での情報提供の方法

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	取締役	2			3	5	
	監査役				2	2	
	計	2	0	0	5	7	
職員	管理職	正職員			0	0	
		臨時職員		—	—		
	一般職	正職員	10			1	11
		臨時職員		—	—		
	計	正職員	10	0	0	1	11
		臨時職員	0	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 2	常勤職員の平均年齢	50	歳	
常勤職員の給与体系		<input checked="" type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input type="checkbox"/> その他()					

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	60,000 千円	本市出資等額	30,000 千円	本市出資等割合	50.0 %
主な出資等者					
① 盛岡市		(出資等割合	50	%)	
② 盛岡水産株式会社		(出資等割合	48.2	%)	
③ 盛岡水産物商業協同組合		(出資等割合	1.6	%)	
④		(出資等割合		%)	
⑤		(出資等割合		%)	
平成27年度における当市の財的関与の状況	補助金	5,340 千円	(収入全体の	4.9	%)
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の		%)
	委託料	0 千円	(収入全体の		%)
	指定管理料	0 千円	(収入全体の		%)
	貸付金	0 千円	(収入全体の		%)
補助金内訳					
① 盛岡中央市場冷蔵株式会社施設建設費償還補助金	(平成27年度予算額	5,340	千円)		
②	(平成27年度予算額		千円)		
③	(平成27年度予算額		千円)		
負担金・交付金内訳					
①	(平成27年度予算額		千円)		
②	(平成27年度予算額		千円)		
委託料内訳					
①	(平成27年度予算額		千円)		
②	(平成27年度予算額		千円)		
指定管理料内訳					
①	(平成27年度予算額		千円)		
②	(平成27年度予算額		千円)		
③	(平成27年度予算額		千円)		
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設がある場合記入)	
		利用料金収入(平成27年度予算額		千円	
		法人の収入全体の		%	

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	
-------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成24年度	平成25年度	平成26年度
①冷蔵庫収入	千円	計画	100,000 千円	95,000 千円	93,620 千円
		実績	98,876 千円	93,577 千円	84,987 千円
②凍氷収入	千円	計画	12,900 千円	12,900 千円	12,900 千円
		実績	12,595 千円	10,170 千円	10,195 千円
③経常損益	千円	計画	8,642 千円	7,820 千円	3,236 千円
		実績	12,750 千円	6,865 千円	180 千円
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
収支の状況	売上高(A)	111,471	103,748	95,183
	売上総利益	109,700	102,333	94,215
	販売費・一般管理費(B)	107,655	106,560	100,148
	営業利益	2,045	▲ 4,227	▲ 5,933
	経常利益(C)	12,750	6,866	180
	税引前当期純利益	12,753	5,378	180
	当期純利益	8,038	4,122	▲ 5
財産の状況	資産(D)	173,267	152,518	139,887
	うち流動資産(E)	30,578	22,875	21,076
	うち固定資産	142,689	129,643	118,811
	負債	123,830	98,959	86,333
	うち流動負債(F)	33,533	30,695	20,681
	うち短期借入金(G)	22,320	22,320	3,720
	うち有利子負債(H)	22,320	22,320	3,720
	うち固定負債	90,297	68,264	65,652
	うち長期借入金(I)	80,575	58,255	58,255
	うち有利子負債(J)	80,575	58,255	58,255
	純資産	49,437	53,559	53,554
うち資本金(K)	60,000	60,000	60,000	
うち剰余金(L)	▲ 10,563	▲ 6,441	▲ 6,446	

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
組織の状況	常勤役員数(M)	1	2	2
	うち本市OB			
	うち本市派遣職員			
	職員総数(N)	14	13	11
	うち常勤職員数	13	12	10
	うち本市OB			
	うち本市派遣職員			
	うち管理職員数	1	0	0
	常勤役員比率(M/総役員数)	12.5	28.6	28.6
	管理職員比率	7.1	0.0	0.0
職員新規採用数				
うち常勤職員数				
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	11.4	6.6	0.1
	販売費・一般管理費比率(B/A)	96.5	102.7	105.2
	流動比率(E/F)	91.1	74.5	101.9
	借入金依存度((G+I)/D)	59.3	52.8	44.3
	自己資本比率((K+L)/D)	28.5	35.1	38.2
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	208.1	150.4	115.7
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	7,431	6,916	7,321
本市の財政的関与等の状況	補助金額	12,400	12,148	7,264
	①	12,400	12,148	7,264
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料			
	①			
	②			
	③			
	貸付金額			
損失補償額				
債務保証額				

平成26年度決算の概要

冷蔵庫収入は、円安をはじめ様々な要因による水産物全般の単価高により市場取扱数量が減少し、また市場外の大口食肉業者が生産を縮小し平成25年10月以降取引が中断したことから、入出庫総数量は前年比76.5%の10,163トン、売上高は前年比90.8%の84,988千円となり8,590千円の大幅な減収となった。

製氷収入は、コールドチェーンの発達による市場取扱数量の減少、及びイベントの集中する夏期毎週末の天候不順等、取扱数量で前年比99.1%の423トン、売上高は前年比100.2%の10,195千円となり、24千円の増収とほぼ前年並みの実績となった。

一般管理費は、引き続き燃料費調整単価の上昇による電力料値上りによる増加があった一方、機械保守料は減少したほか、平成26年11月までに人員2名の削減と在職者1名の定年再雇用への切替えにより人件費を削減したことから、前年比93.4%の100,148千円となり6,412千円の減少となった。

その他、運営資金の安定化のため金融機関と協議し、平成26年11月から月額1,860千円の元金償還の繰延べを1年間受けることとし、長期借入金の返済額は18,600千円となった。また、盛岡市から7,264千円の補助金収入があった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

B	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント) 今後も倉庫収入に占める場外取引先の拡大を図ると共に、運営資金のより一層の安定化のため償還計画の見直しが円滑に進められるよう、市としても支援を継続していく。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	平成25年度決算において黒字である。	○	
2	平成26年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。	○	
4	平成26年度決算において減価償却前黒字である。	○	
5	事業計画どおりの累積欠損である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。	○	
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。	/	/
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。	/	/